

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	中学1年		国語	国語・国語演習	3・2
教科書		補助教材			
『新しい国語 1』『中学書写 1』		『Keyワーク 国語1年 東書』教育開発出版 『解いて覚える 中学生の文法』とうほう 『高校入試 漢字・語句3000』受験研究社			

年間指導目標
国語力の向上

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	国語：『風の五線譜』高階紀一 『話し方はどうかな』川上裕之 『オオカミを見る目』高槻成紀 国語演習：文法とは・言葉の単位、文の成分 硬筆の基礎、楷書 演習問題	国語：詩の形式の理解・読解 説明文の読解 国語演習：文章・段落・文、文節・単語、 主語・述語、修飾語 ノート筆記のポイント、楷書	国語：詩の形式を理解し、詩の読解を習得する。 接続詞や指示語に注意して、説明文の読解を習得する。 国語演習：文法事項を習得する 演習問題に慣れる
	後半	国語：『さんちき』吉橋道夫 『伊曾保物語』 国語演習：並立・補助の関係、文の成分 字形・筆順 演習問題	国語：小説の読解 古文の基礎 国語演習：並立・補助の関係、文の成分 ポイントに注意して書写に取り組む	国語：描写に注意して小説の読解を深める。 歴史的仮名遣いに慣れ、古文に親しむ 国語演習：文法事項を習得する。 字形・筆順に気をつけて書く 演習問題に慣れる
2学期	前半	国語：『碑』松山善三 『私のタンポポ研究』保谷彰彦 国語演習：自立語と付属語、品詞 楷書と仮名の調和 演習問題	国語：小説の読解 説明文の読解 国語演習：自立語・付属語、品詞 楷書と仮名のバランスを意識する	国語：小説を読んで自己の考えを深める 事実と推論に注意して、説明文を読解する。 国語演習：文法事項を習得する。 楷書と仮名の調和をはかる。 ポイントをつかんで演習問題に臨む
	後半	国語：『竹取物語』 『ニュースの見方を考えよう』池上彰 国語演習：名詞、用言・活用形 学習を生かして書く 演習問題	国語：古典の読解 説明文の読解 国語演習：名詞、用言・活用形 実用書に取り組む	国語：歴史的仮名遣いに気をつけて、古典の読解を習得する。 説明文の読解を習得する。 国語演習：文法事項を習得する。 書写を実用的な場面に活かす。 ポイントをつかんで演習問題に臨む
3学期		国語：『矛盾』韓非子 『少年の日の思い出』ヘルマン・ヘッセ 国語演習：動詞1・2 毛筆の学習 演習問題	国語：漢文のルール 小説の読解 国語演習：動詞1・2 毛筆に慣れる	国語：漢文の読解を習得する。 表現の句風に留意して、小説の読解を深める。 国語演習：文法事項を習得する。 毛筆の作品作りをする ポイントをつかんで演習問題に臨む

評価方法	定期試験の結果に提出物や小テストの結果を加味し、本校評価法に基づいて評価します。
学習方法	本文をよく読み、意味が分からない語句や難解な表現は事前に調べたり考えたりしてノートに書きとめておき、授業に集中してそれらが正しかったのか確認すること。また、漢字の小テストで確実に得点して、漢字検定の合格につなげましょう。その積み重ねの上に語彙力、読解力の向上が見えてきます。古文漢文の知識も少しずつ修得していきましょう。
注意事項	予習復習（家庭学習）の習慣づけ、授業をしっかり受けることが大切です。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	『Keyワーク』の該当単元

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	中学2年		国語	国語・国語演習	5(3・2)
教科書		補助教材			
『新しい国語 2』(東京書籍) 『中学書写』(教育出版)		『Keyワーク 2年』(教育開発出版)・『中学生の文法』(とうほう) 『高校入試漢字・語句3000』(受験研究社)			

年間指導目標
国語力の向上

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	●国語 ○教科書 ・「未来へ」「字のない葉書」 ○書写 ・硬筆 ●国語演習 ○文法の学習 ・連体詞、副詞、用言	○教科書 ・詩の形式や修辞および鑑賞 ・筆者の考えを捉える ・随筆の読解 ○書写 点画の連続と省略を理解して書く ○文法の学習 ・連体詞・副詞・形容詞、形容動詞の働きと種類	・詩の形式・修辞を理解し、心情を捉える。 ・中心語に注意し、筆者の主張を捉える。 ・語句の意味を理解し、語彙を増やす。 ・文字を美しく書く姿勢を身につける。
	後半	●国語 ○教科書 ・「卒業ホームラン」「平家物語」 ○書写 ・硬筆 ●国語演習 ○文法の学習 ・連体詞、副詞、用言	○教科書 ・小説と古典の読解 ○書写 点画の連続と省略を理解して書く ○文法の学習 ・連体詞・副詞・形容詞、形容動詞の働きと種類	・中心語に注意し、筆者の主張を捉える。 ・登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。 ・古典に親しむ。 ・語句の意味を理解し、語彙を増やす。 ・文字を美しく書く姿勢を身につける。
2学期	前半	●国語 ○教科書 ・「鯉節 世界に誇る伝統食」「枕草子」 ○書写 ・実用書 ●国語演習 ○文法の学習 ・接続詞、感動詞	○教科書 ・評論と古典の読解 ・漢字力・語彙力の向上 ○書写 目的や必要に応じて書く ○文法の学習 ・接続詞、感動詞の働きと種類	・文章の展開や主張を捉える。 ・古典に親しむ。 ・文章の展開や主張を捉える。 ・語句の意味を理解し、語彙を増やす。 ・文字を美しく書く姿勢を身につける。 ・伝統文化を重視する心を養う。
	後半	●国語 ○教科書 ・「黄金の扇風機」「サハラ砂漠の茶会」「徒然草」 ○書写 ・毛筆 ●国語演習 ○文法の学習 ・助動詞①～②	○教科書 ・評論と古典の読解 ○書写 筆順の変化を理解して書く ○文法の学習 ・助動詞の働きと種類 ○日本文学史(三大随筆)	・文章の展開や主張を捉える。 ・古典に親しむ。 ・語句の意味を理解し、語彙を増やす。 ・文字を美しく書く姿勢を身につける。 ・伝統文化を重視する心を養う。
3学期		●国語 ○教科書 ・「走れメロス」「漢詩」 ○書写 ・毛筆 ●国語演習 ○文法の学習 ・助動詞②～③	○教科書 ・小説と漢詩の読解鑑賞 ○書写 筆順の変化を理解して書く ○文法の学習 ・助動詞の働きと種類	・人物の気持ちの変化を読み取る ・漢詩の基礎的な知識を学ぶ ・語句の意味を理解し、語彙を増やす。 ・文字を美しく書く姿勢を身につける。 ・伝統文化を大切にすることを養う

評価方法	本校評価法に基づいて評価します。
学習方法	「予習→授業→復習」を徹底しましょう。予習時に本文をよく読み、意味不明語句や難解表現について調べたり、考えたりしたことをノートに書き留めておきましょう。授業時に予習内容の確認をはじめ、先生の話に集中することが大切です。授業時の疑問点は、すぐに解決しましょう。国語力の向上は、こうした積み重ねの上にあります。古文・漢文の学習では反復して定着させます。
注意事項	予習・復習(家庭学習)の習慣づけと、授業をしっかり受けることが大切です。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	『Keyワーク 2年』の該当単元。長期の場合はHP、Classi等で連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	中学3年		国語	国語	4
教科書		補助教材			
『新しい国語3』（東京書籍）		『解いて覚える中学生の文法』（とうほう） 『Keyワーク国語3年』（教育開発出版） 『必携 国語常識ベーシック』（数研出版） 『高校入試過去問題集』（声の教育社）			

年間指導目標
中学国語の基礎的な知識を修得するだけでなく高等学校の学習で役立つ勉強への姿勢を身につける。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	○教科書 「おくのほそ道」「俳句五句」 ○漢字検定対策 ○文法の学習 助動詞	○教科書 ・古文の読解と鑑賞 ・韻文とは何か ・俳句の鑑賞 ・説明文の読解 ○ベネッセ過去問演習	・日本の古典の世界に親しむ。 ・俳句の読解の仕方を学ぶ。 ・俳句の鑑賞の仕方を学ぶ。 ・漢字と文法の知識をつける。
	後半	○教科書 「形」「万葉・古今・新古今」 ○漢字検定対策 ○文法の学習 助詞	○教科書 ・小説の読解 ・古文に親しむ ・和歌の鑑賞	・小説の読解の仕方を学ぶ。 ・古人の感性の理解を深める。 ・漢字と文法の知識をつける。
2学期	前半	○教科書 「絶滅の意味」 ○漢字検定対策 ○文法の学習 助詞	○教科書 ・論説文の読解 ○ベネッセ過去問演習	・随想の特徴を学ぶ。 ・随想の読解の仕方を学ぶ。 ・和歌の世界に親しむ。 ・漢字と文法の知識をつける。
	後半	○教科書 「幸福について」 ○文法の学習 敬語	○教科書 ・随想の読解	・漢字と文法の知識をつける。
3学期		○教科書 「論語」「故郷」 ○文法の学習 漢文の訓読	○教科書 ・漢文（訓読文）の読み方 ・漢籍の鑑賞 ・小説の読解 ・論理的文章の読解（総まとめ） ・文学的文章の読解（総まとめ） ○入試問題演習	・中国の古典の世界に親しむ。 ・小説の世界を楽しむ。 ・一年間の総まとめとして、論理的文章、文学的文章（散文、韻文）の読解の仕方を復習する。 ・漢字と文法の知識をつける。

評価方法	1学期と2学期は、それぞれ第1次試験と第2次試験の平均に平常点を加味して評価します。3学期は、学年末試験の成績に平常点を加味して評価します。
学習方法	中学2年生までに身につけた授業を中心とした予習、復習のサイクルをそのまま続けてください。その上立って中学3年では高等学校に進学する前段階として学習に対する自主的な取り組みを確立することが大切です。課題に取り組むだけでなく自ら目標を定め進んで努力する姿勢が大切です。授業で学んだ学習内容を自ら深めようとするような意欲を大切にしてください。受け身の学習から積極的な学びの姿勢への転換を意識することに留意してほしいと思います。
注意事項	上記の学習方法を基本に自分に合った学習方法を各自で確立するように心がけてください。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	『Keyワーク国語3年』の該当単元。長期の場合はClassi、ロイロノート等で連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	高校1年		国語	現代の国語	2
教科書		補助教材			
『現代の国語』第一学習社		『TOP 2500』いいずな書店 『思考のプロセスを大切にする 現代文2』いいずな書店			

年間指導目標
「論理関係（言い換え・対比・因果関係など）」に着目して、論理的に読むことを指導する。 副教材や過去問の演習を通じて、初見問題への解法を指導する。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	◇随想『水の東西』 ◇評論『間の感覚』 ◇評論『無彩の色』	◇評論・論説文の読解	◇評論・論説文の読解の基本を習得する ◇指示語の指す内容を明確にして、正しい読み取りをする。 ◇対比されているポイントをつかみ、二項対立の文章の読み取りを習得する。
	後半	◇小説『羅生門』 ◇評論『ものごとことば』 ◇評論『日本語は世界をこのように捉える』	◇小説文の読解・鑑賞 ◇評論・論説文の読解	◇小説文の読解と鑑賞の基本を習得する。 ◇具体と抽象など、論理的な文章の読解に必要なポイントを習得する。
2学期	前半	◇評論『本当の自分 幻想』 ◇小説『鏡』 ◇評論『「生きもの」として生きる』	◇小説文の読解・鑑賞 ◇評論・論説文の読解	◇登場人物の心理変化を読み取り、小説文の読解と鑑賞の仕方を習得する。 ◇評論・論説文の読解を深める。
	後半	◇評論『文化としての科学』 ◇評論『不均衡な時間』 ◇評論『AIは哲学できるか』	◇評論・論説文の読解	◇対比や因果関係などのポイントを理解し、評論・論説文の読解を深める。
3学期		◇評論『フェアな論争』 ◇評論『「私作り」とプライバシー』 ◇評論『デザインの本意』 基礎学力到達度テスト過去問演習	◇評論・論説文の読解	◇対比や因果関係などのポイントを理解し、評論・論説文の読解を深める。 ◇問題演習により、特に選択肢問題の解き方を習得する。

評価方法	1学期、2学期は第1次と第2次試験の平均で、3学期は学年末試験1回で、それぞれ平常点を加味して評価します。
学習方法	一語一語の意味を正確に押さえることの積み重ねが読解力の土台になります。辞書で根気強く意味調べましょう。
注意事項	国語の読解力は、簡単には身につくものではありません。学校の授業だけでなく新聞や書籍などを積極的に使用、いろいろなジャンルの文章を意識して読み進めましょう。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	その時に学習している単元、次に取り組む単元をノートに整理し、提出してください。長期の場合はHP、Classi等で連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	高校1年		国語	言語文化	3
教科書		補助教材			
『言語文化』第一学習社		『体系古典文法』数研出版 『体系古典文法 準拠ノート』数研出版 『わかる・読める・解ける 古文単語330』いっすな書店 『漢文基本ノートα』浜島書店			

年間指導目標
古文、漢文、詩歌の基礎知識を身につけ、読解力の向上を目指す。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 古文『児のそら寝』 ◆ 古文『絵仏師良秀』 ○ 漢文「漢文入門」 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 歴史的仮名遣い ◆ 動詞の活用（種類・活用形） ◆ 説話の文学史 ◆ 係り結びの法則（入門） ○ 漢文の基礎（漢文入門・返り点・書き下し文・置き字） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 古文の基礎知識を習得する。動詞の活用を習得する。説話文学を通して古文に親しむ。 ○ 漢文の基礎である訓読および書き下し文を習得する。
	後半	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 古文『ある人、弓射ることを習ふに』 ◆ 古文『丹波に出雲といふ所あり』 ○ 漢文『漢文入門』『漁夫の利』 ○ 漢文『返読文字』『再読文字』 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 形容詞・形容動詞の活用 ◆ 反語（入門） ◆ 随筆の文学史 ○ 「返読文字」「再読文字」 ○ 書き下し文 ○ 否定形「不」 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 随筆文の読解を通して用言の活用を習得する。 ○ 漢文特有の句法を学習し、読解の初歩を習得する。
2学期	前半	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 古文『伊勢物語』 ○ 漢文『狐借虎威』 ○ 漢文『否定形①』『使役形』 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 助動詞入門 ◆ 係り結び ◆ 和歌の基本 ◆ 歌物語・伝奇物語の文学史 ○ 否定形・使役形 ○ 反語形（訳のみ） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 歌物語の読解を通して助動詞について理解する。 ◆ 係り結びについて理解する。 ○ 否定・使役の句法を習得する。
	後半	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 古文『土佐日記』 ○ 漢文『漢詩』 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 助動詞（推量系） ◆ 和歌の理解 ◆ 紀貫之に関わる文学史 ○ 漢詩の形式・知識事項 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 和歌と紀貫之についての理解を深める。 ◆ 推量系その他の助動詞について理解する。 ○ 漢詩の構造や表現技法の理解を深める。
3学期		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 古文『奥の細道』 ● 現代文『近現代の詩歌』 ○ 漢文『論語』 ○ 漢文『複合語』『同訓異字』 基礎学力到達度テスト過去問演習 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文法の復習 ○ 複合語・同訓異字 ○ 再読・使役・否定 基礎学力到達度テスト過去問演習 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文法事項の総復習をする。 ● 近現代の詩歌を鑑賞する。 ○ 既習事項の復習と確認を行う。 ○ 儒学や諸子百家の考え方を学習する。

評価方法	1学期、2学期は第1次と第2次試験の平均で、3学期は学年末試験1回で、それぞれ平常点を加味して評価します。
学習方法	一語一語の意味を正確に押さえることの積み重ねが読解力の土台になります。辞書で根気強く意味調べましょう。古典文法力、漢文の句法は、高校1年でしっかり身につけなければならない基礎です。教科書だけでなく副教材も有効に使って体系的な知識を習得しましょう。
注意事項	国語の読解力は、簡単には身につくものではありません。学校の授業だけでなく新聞や書籍などを積極的に使用、いろいろなジャンルの文章を意識して読み進めましょう。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	その時に学習している単元、次に取り組む単元をノートに整理し、提出してください。長期の場合はHP、Classi等で連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	高校2年	日大進学クラス	国語	論理国語	3
教科書		補助教材			
数研出版『論理国語』		『思考のプロセスを大切にする現代文3』（いいずな書店）			

年間指導目標

1年次の学習内容に基づき、評論や小説を読み解く力を身に付ける。問題演習を通し、入試に必要な読解力も養う。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	◇ 評論の読解 ◎ 読解演習	評論「「具体」から「抽象」へ」 「手の変幻」	◆ さまざまなジャンルの評論文を読んで、筆者の着眼点や論理展開を正確に把握する。 ◇ 文中に提起されている抽象度の高い問題について関心を持ち、自ら考える姿勢を身につけることで思考力を養う。
	後半	◆ 小説の読解 ◇ 評論の読解 ◎ 読解演習	小説「山月記」 評論「胆力について」	◆ 描かれた場所・状況、作中人物の心理等小説を的確に読み取り、読む楽しさを実感させる。小説の読解により、描かれた人生の真実や人間の生き方について考える姿勢を持つ。 ◇ 筆者の視点を知ることで、物事の多角的な見方を養い、新たな思考力を養う。
2学期	前半	◇ 評論の読解 ◎ 読解演習	評論「科学・技術の歴史の中での社会」 評論「疑似群衆の時代」	◇ 評論文の論理的読解の定着を意図し、論理的な把握による趣旨の読解力を磨く。
	後半	◇ 評論の読解 ◎ 読解演習	評論「「いき」の美学」 評論「文化が違う」とは何を意味するのか	◇ 評論の読解を通して筆者の着眼点や論理展開をたどり、主旨を的確に把握する力を養う。
3学期		◇ 評論の読解 ◎ 読解演習	評論「意志と選択」	◇ 評論文の論理的読解の定着を意図し、論理的な把握による趣旨の読解力を磨く。 ◆ 難解な用語等を含めた1年間の総復習を行い、正確な論理展開の把握と趣旨を読解する力を身に付ける。

評価方法	・ 1学期、2学期は第1次と第2次試験の平均で、3学期は学年末試験一回で、それぞれ平常点を加味して評価します。
学習方法	・ 評論に関しては難解な表現や複雑な論理展開の文章を読むことに慣れ、文意を正確に押さえることを中心として学習していきます。小説も同様に内容を正確に読み進めながら、登場人物の心情や情景描写にも着目して読むことで、主題の把握を目指します。更には読み味わうことも大事にしていきます。
注意事項	思考は言葉によってなされます。従って、語彙の正確な理解と、「何が、どうである」という事柄の確実な把握は非常に重要です。そこに論理性が加わることで思考力が磨かれます。その観点から国語の授業では、授業の対象となっている事柄に対し、その関連や比較・対応などの関係を理解するように常に頭を働かせる、積極的な授業参加を大事にしてください。なお、授業作品は繰り返し読むことが必要です。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期の場合は、その時に学習している単元、次に取り組む単元の予習復習をノートにして提出しましょう。長期の場合はHP、Classi等で連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	高校2年	日大進学クラス	国語	古典探求	3
教科書		補助教材			
数研出版『高等学校 古典探求』		① 数研出版『体系古典文法』 ※前年度購入 ② 数研出版『体系古典文法 準拠ノート』 ※前年度購入 ③ いいずな書店『わかる・読める・解ける 古文単語330』 ※前年度購入 ④ 浜島書店『漢文基本ノートα』 ※前年度購入			

年間指導目標
基礎学力到達度テストで得点できるようになる。より一層の読解力を身につけ、本文解釈の精度を高める。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	◎ 基礎学力到達度テスト対策 ○(選択)「大江山」十訓抄 (選択)「兼盛と忠見」沙石集 (選択)「用枝の筆策」古今著問集 ●書き下し文 ●再読文字・置き字	○用言の活用・係り結びの法則に注意して、本文の通釈を行う。 ○主な説話集を紹介する。 ●書き下し文の注意点・作り方・ひらがなに直す漢字の理解。 ●句法の理解。	◎ 問題演習を行う。 ○説話3文中、2文以上を選択。高1時学習内容の確認を主たる目的とする。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●高1時学習内容の確認を主たる目的とする。
	後半	○(必修)「宮にはじめて参りたるころ」枕草子 ○(選択)「初冠」伊勢物語 ○(選択)「通ひ路の関守」伊勢物語 ○(選択)「渚の院」伊勢物語 ●否定形(部分否定、全部否定)・使役形 ●否定形(二重否定)・受身形	○敬語法(敬語の種類・敬意を含む単語・同助動詞・同補助動詞)の習得。 ○本文の通釈を行う。 ○三大随筆・歌物語を紹介する。 ●既習の句法の定着。 ●新たに学習する句法の理解。	○伊勢物語は「初冠」・「通ひ路の関守」・「渚の院」のいずれかを選択 ○古典文法に留意して通釈する。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●部分否定と全部否定・使役形については高1時学習済み。
2学期	前半	○(必修)「南院の競射」大鏡 ○(選択)「三船の才」大鏡 ○(選択)「光源氏の誕生」源氏物語 ●「漱石枕流」世説新語 ●疑問形(文末の助字・疑問詞・複合語)	○本文の通釈を行う。 ○歴史物語を紹介する ●本文の通釈を行う。 ●新たに学習する句法の理解。	○「三船の才」・「光源氏の誕生」のいずれかを選択。 ○古典文法に留意して通釈する。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●書き下し文の練習。
	後半	○(必修)「小柴垣のもと」源氏物語 ●「四面楚歌」史記 ●反語形(文末の助字・疑問詞・複合語)	○本文の通釈を行う。 ○作り物語を紹介する。 ●本文の通釈を行う。 ●新たに学習する句法の理解。	
3学期		○(必修)「うつろひたる菊」蜻蛉日記 ○(必修)「物語」更級日記 ○(選択)「俊成自讃歌のこと」無名抄 ●「性善」孟子 ●仮定形・限定形・累加形・比較形・比況形	○本文の通釈を行う。 ○女流日記文学を紹介する。 ●本文の通釈を行う。 ●新たに学習する句法の理解。	○日記2文を必修。 ○古典文法に留意して通釈する。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●書き下し文の練習

評価方法	1・2学期は2回の定期試験の平均点と平常点、3学期は学年末試験の得点と平常点の合計。前年度春期休業課題は1学期、夏期休業課題は2学期、冬期休業課題は3学期の平常点として加味する。
学習方法	古文は1年次に学習した基本的な文法事項を用いて文章を読解していくこととする。基本知識の不足が見られる生徒に対しては補習等を通して理解の徹底を図る。また、新たに敬語法を学習することで複雑な文章の読解にも挑戦する。漢文は1年次に概観した句法の基本を復習し、今年度は新たな句法の習得に取り組む。特に基本的な句法については、常用的な形式を覚え、読解をしていくための基礎固めを図る。
注意事項	① 古文の教材は「必修」を優先とする。「選択」教材については、生徒の理解度や授業時間数等に応じて弾力的に対応する。 ② 係り結びの特殊な用法(もぞ・もこそ、結びの省略、結びの消滅、こそ～已然形逆接用法)については教材出現時に説明する。 ③ 助動詞と敬語法は、年間を通して繰り返し説明する。 ④ 未履修の句法「選択形・抑揚形・詠嘆形・願望形」は3年1学期に説明する。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期間の場合は、その直前に学習していた単元の復習と次に学習する単元の予習を自分で進めて、臨時休校期間終了後にノートを提出すること。 長期間の場合は、別途学校ホームページにて連絡を行う。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	高校2年	難関大進学クラス	国語	論理国語	3
教科書		補助教材			
数研出版『論理国語』		『思考のプロセスを大切にできる現代文4』（いいずな書店）			

年間指導目標
1年次の学習内容に基づき、より難解な評論や小説を読み解く力を身に付ける。問題演習を通し、入試に必要な読解力も養う。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	◇ 評論の読解 ◎ 読解演習	評論「「具体」から「抽象」へ」 「手の変幻」	◆ さまざまなジャンルの評論文を読んで、筆者の着眼点や論理展開を正確に把握する。 ◇ 文中に提起されている抽象度の高い問題について関心を持ち、自ら考える姿勢を身につけることで思考力を養う。
	後半	◆ 小説の読解 ◇ 評論の読解 ◎ 読解演習	小説「山月記」 評論「胆力について」	◆ 描かれた場所・状況、作中人物の心理等小説を的確に読み取り、読む楽しさを実感させる。小説の読解により、描かれた人生の真実や人間の生き方について考える姿勢を持つ。 ◇ 筆者の視点を知ること、物事の多角的な見方を養い、新たな思考力を養う。
2学期	前半	◇ 評論の読解 ◎ 読解演習	評論「科学・技術の歴史の中での社会」 評論「疑似群衆の時代」	◇ 評論文の論理的読解の定着を意図し、論理の的確な把握による趣旨の読解力を磨く。
	後半	◇ 評論の読解 ◎ 読解演習	評論「「いき」の美学」 評論「文化が違う」とは何を意味するのか	◇ 評論の読解を通して筆者の着眼点や論理展開をたどり、主旨を的確に把握する力を養う。
3学期		◇ 評論の読解 ◎ 読解演習	評論「意志と選択」	◇ 評論文の論理的読解の定着を意図し、論理の的確な把握による趣旨の読解力を磨く。 ◆ 難解な用語等を含めた1年間の総復習を行い、正確な論理展開の把握と趣旨を読解する力を身に付ける。

評価方法	・ 1学期、2学期は第1次と第2次試験の平均で、3学期は学年末試験一回で、それぞれ平常点を加味して評価します。
学習方法	・ 評論に関しては難解な表現や複雑な論理展開の文章を読むことに慣れ、文意を正確に押さえることを中心として学習していきます。小説も同様に内容を正確に読み進めながら、登場人物の心情や情景描写にも着目して読むことで、主題の把握を目指します。更には読み味わうことも大事にしていきます。
注意事項	思考は言葉によってなされます。従って、語彙の正確な理解と、「何が、どうである」という事柄の確実な把握は非常に重要です。そこに論理性が加わることで思考力が磨かれます。その観点から国語の授業では、授業の対象となっている事柄に対し、その関連や比較・対応などの関係を理解するように常に頭を働かせる、積極的な授業参加を大事にしてください。なお、授業作品は繰り返し読むことが必要です。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期の場合は、その時に学習している単元、次に取り組む単元の予習復習をノートにして提出しましょう。長期の場合はHP、Classi等で連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	高校2年	難関大進学クラス	国語	古典探求	3
教科書		補助教材			
数研出版『高等学校 古典探求』		① 数研出版『体系古典文法』 ※前年度購入 ② 数研出版『体系古典文法 準拠ノート』 ※前年度購入 ③ いいずな書店『わかる・読める・解ける 古文単語330』 ※前年度購入 ④ 浜島書店『漢文基本ノートα』 ※前年度購入			

年間指導目標
基礎学力到達度テストで得点できるようになる。より一層の読解力を身につけ、本文解釈の精度を高める。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	◎ 基礎学力到達度テスト対策 ○(選択)「大江山」十訓抄 (選択)「兼盛と忠見」沙石集 (選択)「用枝の筆策」古今著問集 ●書き下し文 ●再読文字・置き字	○用言の活用・係り結びの法則に注意して、本文の通釈を行う。 ○主な説話集を紹介する。 ●書き下し文の注意点・作り方・ひらがなに直す漢字の理解。 ●句法の理解。	◎ 問題演習を行う。 ○説話3文中、2文以上を選択。高1時学習内容の確認を主たる目的とする。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●高1時学習内容の確認を主たる目的とする。
	後半	○(必修)「宮にはじめて参りたるころ」枕草子 ○(選択)「初冠」伊勢物語 ○(選択)「通ひ路の関守」伊勢物語 ○(選択)「渚の院」伊勢物語 ●否定形(部分否定、全部否定)・使役形 ●否定形(二重否定)・受身形	○敬語法(敬語の種類・敬意を含む単語・同助動詞・同補助動詞)の習得。 ○本文の通釈を行う。 ○三大随筆・歌物語を紹介する。 ●既習の句法の定着。 ●新たに学習する句法の理解。	○伊勢物語は「初冠」・「通ひ路の関守」・「渚の院」のいずれかを選択 ○古典文法に留意して通釈する。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●部分否定と全部否定・使役形については高1時学習済み。
2学期	前半	○(必修)「南院の競射」大鏡 ○(選択)「三船の才」大鏡 ○(選択)「光源氏の誕生」源氏物語 ●「漱石枕流」世説新語 ●疑問形(文末の助字・疑問詞・複合語)	○本文の通釈を行う。 ○歴史物語を紹介する ●本文の通釈を行う。 ●新たに学習する句法の理解。	○「三船の才」・「光源氏の誕生」のいずれかを選択。 ○古典文法に留意して通釈する。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●書き下し文の練習。
	後半	○(必修)「小柴垣のもと」源氏物語 ●「四面楚歌」史記 ●反語形(文末の助字・疑問詞・複合語)	○本文の通釈を行う。 ○作り物語を紹介する。 ●本文の通釈を行う。 ●新たに学習する句法の理解。	
3学期		○(必修)「うつろひたる菊」蜻蛉日記 ○(必修)「物語」更級日記 ○(選択)「俊成自讃歌のこと」無名抄 ●「性善」孟子 ●仮定形・限定形・累加形・比較形・比況形	○本文の通釈を行う。 ○女流日記文学を紹介する。 ●本文の通釈を行う。 ●新たに学習する句法の理解。	○日記2文を必修。 ○古典文法に留意して通釈する。 ○古文単語・古典常識に関して理解を広める。 ●書き下し文の練習

評価方法	1・2学期は2回の定期試験の平均点と平常点、3学期は学年末試験の得点と平常点の合計。前年度春期休業課題は1学期、夏期休業課題は2学期、冬期休業課題は3学期の平常点として加味する。
学習方法	古文は1年次に学習した基本的な文法事項を用いて文章を読解していくこととする。基本知識の不足が見られる生徒に対しては補習等を通して理解の徹底を図る。また、新たに敬語法を学習することで複雑な文章の読解にも挑戦する。漢文は1年次に概観した句法の基本を復習し、今年度は新たな句法の習得に取り組む。特に基本的な句法については、常用的な形式を覚え、読解をしていくための基礎固めを図る。
注意事項	① 古文の教材は「必修」を優先とする。「選択」教材については、生徒の理解度や授業時間数等に応じて弾力的に対応する。 ② 係り結びの特殊な用法(もぞ・もこそ、結びの省略、結びの消滅、こそ～已然形逆接用法)については教材出現時に説明する。 ③ 助動詞と敬語法は、年間を通して繰り返し説明する。 ④ 未履修の句法「選択形・抑揚形・詠嘆形・願望形」は3年1学期に説明する。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期間の場合は、その直前に学習していた単元の復習と次に学習する単元の予習を自分で進めて、臨時休校期間終了後にノートを提出すること。 長期間の場合は、別途学校ホームページにて連絡を行う。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	高校3年	日大進学クラス	国語	現代文	3
教科書		補助教材			
東京書籍『精選 現代文B』		いいずな書店『思考のプロセスを大切にする現代文4』			

年間指導目標

2年次の学習内容に基づき、基礎学力テストに対応できる読解力を身に付ける。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	◇ 評論の読解 ◆ 問題演習	1 評論 1 『言語と記号』 3 評論 2 『鏡の中の現代社会』 基礎学力到達度テスト対策としての問題演習	◇ より難解な評論文を読み、筆者の着眼点や論理展開を正確に把握する。また、文中で扱われる抽象度の高い話題についても関心を持ち、考えることでさらなる論理的思考力を養う。 ◆ 実践問題に取り組み、入試レベルで扱われる内容や設問の形式に慣れ、得点力の基礎を涵養する。
	後半	◆ 問題演習	基礎学力到達度テスト対策としての問題演習	◆ 実践問題に取り組み、入試レベルで扱われる内容や設問の形式に慣れ、得点力の基礎を涵養する。
2学期	前半	◆ 問題演習 ◇ 小説の読解	基礎学力到達度テスト対策としての問題演習 Ⅱ部小説 3 『トランジット』小川洋子	◆ 到達度試験形式の客観問題に慣れ、対策の一環とする。また、客観問題の選択肢の選び方などについても学ばせる。 ◇ 文学的文章にも触れ、登場人物の心情を理解する。
	後半	◇ 評論、小説の読解	Ⅱ部評論 3 『ころ』夏目漱石	◇ 有名な小説や作品を読み、筆者の着眼点や論理を把握する。
3学期				

評価方法	定期試験の得点に平常点を加味して評価する。
学習方法	評論を中心として扱い、その内容として複雑な論理展開や、難解な語句を含む文章を読む力を完成させ、論旨を明確に理解する着目点について集中的に学習していきます。
注意事項	2年次よりも難解な内容を扱うため、授業中は常に内容に対して頭を働かせるよう意識してください。また、語彙の正確な理解と、その論理関係を確実に把握しておくことは非常に重要です。さらには、授業前の準備として内容に触れておくこと、授業後に内容を振り返っておくことを習慣化してください。扱う作品は繰り返し読む必要があります。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期の場合は、その時に学習している単元、次に取り組む単元の予習復習をノートにして提出しましょう。長期の場合はHP、Classi等で連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	高校3年	日大進学クラス	国語	古典B	3
教科書		補助教材			
東京書籍『精選古典B』		① 数研出版『体系古典文法』 ※1年次購入 ② いいずな書店『わかる・読める・解ける 古文単語330』 ※1年次購入 ③ 浜島書店『漢文基本ノートα』 ※1年次購入			

年間指導目標
古文、漢文の基礎知識を確認し、今まで以上に理解を深める。新たな知識を習得し、実践に役立てる。読解の練習を通して基礎学力到達度テストの受験に備える。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	○古文の問題演習 ●漢文の問題演習	○過去問などによる問題演習 文学史 古文単語 ●過去問などによる問題演習	○問題の解き方演習を繰り返し、解釈の精度を向上させて受験に備える。 ○1, 2年次に授業で取り上げた古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○1, 2年次に引き続き重要語句を覚える。 ●句形の理解、習得と演習により受験に備える。
	後半	○古文の問題演習 ●漢文の問題演習	○過去問などによる問題演習 文学史 古文単語 ●過去問などによる問題演習	○問題の解き方演習を繰り返し、解釈の精度を向上させて受験に備える。 ○1, 2年次に授業で取り上げた古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○1, 2年次に引き続き重要語句を覚える。 ●句形の理解、習得と演習により受験に備える。
2学期	前半	○古文の問題演習 ●漢文の問題演習	○過去問などによる問題演習 文学史 古文単語 ●過去問などによる問題演習	○問題の解き方演習を繰り返し、解釈の精度を向上させて受験に備える。 ○1, 2年次に授業で取り上げた古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ○1, 2年次に引き続き重要語句を覚える。 ●句形の理解、習得と演習により受験に備える。
	後半	○古文の読解 ●漢文の読解	○枕草子「すさまじきもの」 ○徒然草「家居のつきづきしく」 文学史 古文単語 ●『桃花源記』	○古文の読解を通して古語や古典文法の理解、習得を目指す。 ○1, 2年次に学習した古典文学作品を網羅的、系統的に覚える。 ●漢文の読解を通して、句形の理解と習得を目指す。
3学期				

評価方法	定期試験の得点に平常点を加味して評価する。
学習方法	一語一語の意味を丹念に調べて理解する。文法を理解し、実践の中で確認する。その作業を根気よく続け、知識を積み重ねることが肝心である。また、様々なジャンルの文章をできる限り多く読み、古文漢文に慣れることが重要である。
注意事項	できる限り多くの問題に取り組むことを通して、長文問題に慣れ、解答のスピードを上げる。得点に固執せず、演習で得た知識の応用を意識させる。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期の場合は、次に取り組む単元の予習復習をノートにまとめて提出する。長期の場合はHP、Classi等で連絡します。

年度	学年	コース	教科	科目	単位数
令和5年度	高校3年	難関大進学クラス	国語	現代文	3
教科書		補助教材			
東京書籍『精選 現代文B』		「私大対策評論20 standard」(いいずな書店)			

年間指導目標
2年次の学習内容に基づき、難関大の入試にも対応できる読解力を身に付ける。

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1学期	前半	◇ 評論の読解 ◆ 問題演習	評論「環境問題と孤立した個人」 入試問題演習①	◇ より難解な評論文を読み、筆者の着眼点や論理展開を正確に把握する。また、文中で扱われる抽象度の高い話題についても関心を持ち、自らの考えを文章としてまとめる要約力を完成させる。 ◇ 筆者の視点を知ること、物事の多角的な見方を養い、新たな思考力を養う。
	後半	◆ 問題演習	評論「社会の壊れる時」 入試問題演習②	◇ 評論文の論理的読解の完成をめざし、論理の的確な把握によって論旨を理解する読解力を養う。 ◇ 評論文の読解を通して筆者の着眼点や論理展開をたどり、論旨を的確に把握、説明する力を養う。 ◆ 実践問題に取り組み、入試レベルで扱われる内容や設問の内容についての周辺知識についても学ぶ。
2学期	前半	◆ 問題演習②	入試問題演習③	◆ 1学期に身につけた読解の基礎を用いて設問に対する回答を作成し、解説を読んで誤りについて検討できる批判的読みを身につけさせる。 ◆ 共通試験形式の客観問題に慣れ、対策の一環とする。
	後半	◆ 問題演習③	入試問題演習③	◆ 難関私大で出題される内容に触れ、その形式や答案作成、選択肢選定の要点についても読解法と併せて身につけさせる。 ◆ 多くの問題に触れるとともに、その周辺知識についても整理し、同様の内容が出題されたときの対策とする。
3学期				

評価方法	定期試験の得点に平常点を加味して評価する。
学習方法	入試において中心となる評論を扱い、複雑な論理展開や難解な語句を含む文章に対する読解力の完成を目指す。また、問題演習では出題者の視点から、どのような問題でどのような間違いをさせようとしているかについても解説し、問題内容について俯瞰的な視点を持つ訓練も併せて行う。
注意事項	授業は常に入試を意識したものとして進める。記述等、対策が必要な者に対しては、要約などを課すこともあるため、家庭学習を心がけて授業に臨んでもらいたい。
インフルエンザ等で臨時休校になった場合の課題	短期の場合は、その時に学習している単元、次に取り組む単元の予習復習をノートにして提出。長期の場合はHP、Classi等で連絡します。